

## 総合診療部

### General Medicine

教授	山城 清二	Seiji Yamashiro
助教授	北 啓一郎	Keiichiro Kita
助手	薄井 勲	Isao Usui

#### 著 書

- 1) 北 啓一郎：「腹痛」「身体表現性障害」「疾患別問題」UCSF に学ぶできる内科医への近道（改訂 2 版）山中克郎，澤田覚志編著，南山堂，東京．
- 2) 薄井 勲，小林 正：第 10 章 インスリン分泌促進薬からインスリンへの切り替え，インスリン分泌促進薬-SU 薬とグリニド，清野 裕編集，フジメディカル出版，大阪．
- 3) 薄井 勲，小林 正：インスリン抵抗性の成因と分子機構 - 7 インスリン抵抗性に関連する新しい分子「FFA」，インスリン抵抗性，松沢佑次，藤田敏郎，門脇 孝編，医学書院，東京．

#### 原 著

- 1) Hamada H., Abrams H., Yamashiro S., Shirabe S.: Batty H.: Report on Ambulatory Teaching: A Japanese Look at the Canadian Education System. *General Medicine*, 7: 29-33, 2006.
- 2) Hamamoto M., Tomita S., Inagaki M., Yutani C., Yamashiro S., Sunagawa K., Nakatani S., Kitamura S.: Bone marrow cell transplantation into the heart is not a crucial factor of ventricular fibrillation in a rat doxorubicin-induced cardiomyopathy model. *Journal of Arrhythmia*, 22(2): 86-91, 2006.
- 3) 北 啓一郎，薄井 勲，山城清二：受診した医療施設数からみた総合診療部初診患者の特性分析．プライマリ・ケア，29(4)：290-294，2006.
- 4) 小林 正，山崎勝也，薄井 勲：わが国における 2 型糖尿病患者の治療実態-6，741 例を対象としたアンケート調査成績-Diabetes Frontier 17 (3), 379-383, 2006.
- 5) He J, Usui I, Ishizuka K, Kanatani Y, Hiratani K, Iwata M, Bukhari A, Haruta T, Sasaoka T, Kobayashi M.: Interleukin-1{alpha} Inhibits Insulin Signaling with Phosphorylating Insulin Receptor Substrate-1 on Serine Residues in 3T3-L1 Adipocytes. *Mol Endocrinol*. 20(1): 114-124, 2006.

#### 症例報告

- 1) 岩田 実，多喜博文，笹岡利安，佐藤 啓，薄井 勲，宇野立人，岸田みか，鈴木ひかり，石木 学，山崎勝也，浦風雅春，小林 正：シェーグレン症候群を合併した嚢胞性リンパ球性下垂体炎と考えられる 1 例．ホルモンと臨床，54:10-17, 2006.

#### 総 説

- 1) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 16 , 2006 .
- 2) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 103 , 2006 .
- 3) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 197 , 2006 .
- 4) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 290 , 2006 .
- 5) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 385 , 2006 .
- 6) 山城清二：ER 必須薬 . *ERmagazine* , 3 : 475 , 2006 .
- 7) 北 啓一郎：NBM の教育 - NBM の知識・技能・態度をどう教育するか - 診断と治療，94(2)：101-106，2006．

#### 学会報告

- 1) 北 啓一郎，薄井 勲，山城清二：受診した医療施設数からみた，総合診療部初診患者の内訳．第 14 回総合診療医学会，2006，3，宇部．
- 2) 薄井 勲，北 啓一郎，山城清二：糖尿病スクリーニングとしての住民健診の有用性に関する検討と考察．第 14 回日本総合診療医学会学術総会，2006，3，宇部．

- 3) 北 啓一朗, 室林 治, 薄井 勲, 山城清二: 総合診療部外来における, 多施設受診者の分析. 第 58 回日本心身医学会中部地方会, 2006, 10, 金沢.
- 4) 薄井 勲, 山崎勝也, 高野敦子, 村上史峰, 山崎 夕, 浦風雅春, 蜂谷春雄, 鷹田美智代, 仙田聡子, 岩田 実, 佐藤 啓, 笹岡利安, 手丸理恵, 小林 正: 高血圧合併糖尿用患者におけるテルミサルタンのインスリン抵抗性改善効果と降圧効果についての検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 5) 藤坂志帆, 薄井 勲, アグッサルム ブクハリ, 金谷由紀子, 石塚 健, 賀 剣英, 岩田 実, 石木 学, 平谷和幸, 浦風雅春, 小林 正: テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいてインスリン抵抗性を改善させ, 脂肪細胞を小型化する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 6) 金谷由紀子, 薄井 勲, Agussalim Bukhari, 石塚 健, 藤坂志帆, 賀 剣英, 平谷和幸, 石木 学, 岩田 実, 浦風雅春, 小林 正: SOCS3 は 3T3-L1 脂肪細胞からの adiponectin 分泌を抑制する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 7) 石塚 健, 薄井 勲, 金谷由紀子, 賀 剣英, Agussalim Bukhari, 藤坂志帆, 岩田 実, 平谷和幸, 石木 学, 小橋親晃, 浅水幸恵, 浦風雅春, 小林 正: チアゾリジン誘導体は SOCS3 の発現を抑制し, TNF $\alpha$  によるインスリン抵抗性を改善する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 8) 岩田 実, 藤川真理子, 山崎勝也, 薄井 勲, 金谷由紀子, 石塚 健, 賀 剣英, 宇野立人, 平谷和幸, 市崎雅子, 小林 正: 内臓蓄積発症に關与する生活習慣の検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 9) 浦風雅春, 山崎勝也, 岩田 実, 薄井 勲, 川原順子, 岸田みか, 仙田聡子, 手丸理恵, 福島泰男, 五十嵐保史, 小橋親晃, 浅水幸恵, 福居和人, 村上史峰, 山崎 夕, 澤崎茂樹, 池本雅仁, 大角誠治, 小林 正: 2 型糖尿病患者に対するグリメピリド 0.5mg 投与の有効性. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 10) 小橋親晃, 浦風雅春, 浅水幸恵, 藤坂志帆, 金谷由紀子, 石塚 健, 石木 学, 岩田 実, 山崎勝也, 薄井 勲, 浦風雅春, 小林 正: アスタキサンチンのヒト脂肪細胞における IL-8 採用の抑制効果. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 11) 浅水幸恵, 浦風雅春, 小橋親晃, 藤坂志帆, 金谷由紀子, 石塚 健, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 浦風雅春, 小林 正: C-reactive Protein は 3T3-L1 脂肪細胞からの MCP-1 産生を増強する. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 12) 柳楽清文, 笹岡利安, 和田 努, 薄井 勲, 井窪万里子, 小林 正, 斉藤 滋: エストラジオール(E2)がインスリン感受性に及ぼす影響の培養系と個体での検討. 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2006, 5, 東京.
- 13) 薄井 勲, 金谷由紀子, 藤坂志帆, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 石木 学, 岩田 実, アグッサルム ブクハリ, 浦風雅春, 小林 正: 脂肪細胞における SOCS3 発現がインスリン抵抗性に与える影響. 第 74 回 日本糖尿病学会中部地方会, 2006, 10, 愛知.
- 14) 金谷由紀子, 薄井 勲, 石塚 健, 藤坂志帆, Agussalim Bukhari, 賀 剣英, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 石木 学, 浦風雅春, 小林 正: Pioglitazone は SOCS3 の発現を抑制する: そのインスリン抵抗性改善機序の検討. 第 18 回分子糖尿病学シンポジウム, 2006, 12, 松山.
- 15) Fujisaka S., Usui I., Agussalim B., Kanatani Y., Ishizuka K., He J., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., Kobayashi M.: Telmisartan improves insulin sensitivity with reduced adipocytes size in high fat-fed mice. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 16) Kanatani Y., Usui I., Ishizuka K., He J., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., Kobayashi M.: Reduced Expression of SOCS3 in Fat Tissue Is Related to Improved Insulin Sensitivity by Pioglitazone in db/db Mice. 66rd Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 17) He J., Usui I., Kanatani Y., Ishizuka K., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., Kobayashi M.: Long term IL-1 $\alpha$  treatment inhibits insulin signaling via NF $\kappa$ B-dependent IL-6 production and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 18) Ishizuka K., Usui I., Kanatani Y., He J., Bukhari A., Fujisaka S., Iwata M., Ishiki M., Hiratani K., Urakaze M., Kobayashi M.: Pioglitazone improves TNF $\alpha$ -induced insulin resistance via reduced expression of SOCS3 in 3T3-L1 adipocytes. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 19) Urakaze M., Kobashi C., Asamizu S., Fujisaka S., Kanatani Y., Ishizuka K., He J., Bukhari A., Ishiki M., Iwata M., Usui I., Yamazaki K., Kobayashi M.: Astaxanthin inhibits IL-8-induced ERK phosphorylation in human adipocytes in vitro. 66th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2006, 6, Washington, DC.
- 20) Usui I., Kanatani Y., Ishizuka K., Fujisaka S., He J., Bukhari A., Yamazaki Y., Suzuki H., Ishiki M., Urakaze M., Kobayashi M.:

Pioglitazone Improves Insulin Sensitivity by Increasing Adiponectin Secretion from Fat Tissue via Reduced Expression of SOCS3 2nd Scientific Meeting of the Asian-Pacific Diabetes and Obesity Study Group, 2006, 8, Kyoto.

- 21) Usui I, Ishizuka K, Kanatani Y, Fujisaka S, Bukhari A, He J, Yamazaki Y, Suzuki H, Iwata M, Ishiki M, Urakaze M, Kobayashi M.: Chronic TNF $\alpha$  treatment causes insulin resistance by enhancing IL-6 production and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 22) Kanatani Y, Usui I, Ishizuka K, He J, Bukhari A, Fujisaka S, Yamazaki Y, Suzuki H, Iwata M, Ishiki M, Urakaze M, Kobayashi M.: SOCS3 decreases adiponectin production in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 23) He J, Usui I, Kanatani Y, Ishizuka K, Bukhari A, Fujisaka S, Yamazaki Y, Suzuki H, Iwata M, Ishiki M, Urakaze M, Kobayashi M.: Long term IL-1 $\alpha$  treatment inhibits insulin signaling via NF- $\kappa$ B-dependent IL-6 production and SOCS induction in 3T3-L1 adipocytes. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.
- 24) Fujisaka S, Usui I, Bukhari A, Kanatani Y, Yamazaki Y, Suzuki H, He J, Iwata M, Ishiki M, Urakaze M, Kobayashi M.: Telmisartan Improves Insulin Sensitivity with Reduced Adipocytes Size in High Fat-fed Mice. The 8th Insulin Action Symposium, 2006, 9, Otsu.

## その他

- 1) 北 啓一郎: シンポジウム「心身医療におけるエビデンス・ベイスト・アプローチとナラティブ・アプローチ: 理論・実践・研究」心身医療における EBM と NBM - 総合診療の立場から -」第 47 回日本心身医学会総会 2006, 5, 東京.
- 2) 北 啓一郎: 「EBM と NBM の統合的診療のコツ - 心身医療に活かすために -」「step4: エビデンスの患者への適応 - NBM」第 6 回指導医のための EBM 講習会 (2006.11.18-19, 東京) 第 21 回日本心療内科学会学術講習会, 2006, 11, 富山.
- 3) 北 啓一郎: 「専門医と総合医 - 当院での現状と課題 -」第 3 回北陸 4 大学総合診療懇談会, 2006, 10, 金沢.
- 4) 北 啓一郎: 「心身症について」平成 18 年度富山大学公開講座「心とからだの心理学」, 2006, 11, 富山.
- 5) 北 啓一郎: 第 58 回日本心身医学会中部地方会 座長 2006, 10, 金沢.
- 6) 山腰高子, 岩田 実, 山崎勝也, 薄井 勲, 石木 学, 宇野立人, 平谷和幸, 浦風雅春, 小林 正, 菅原秀徳, 泉野 潔: ANCA 関連腎炎を合併した 2 型糖尿病の一例. 第 3 回富山糖尿病合併症を考える会, 2006, 2, 富山.
- 7) 山腰高子, 岩田 実, 山崎勝也, 薄井 勲, 石木 学, 宇野立人, 平谷和幸, 浦風雅春, 小林 正, 菅原秀徳, 泉野 潔: ANCA 関連腎炎を合併した 2 型糖尿病の一例. 第 83 回中部地区老年医学談話会, 2006, 2, 名古屋.
- 8) 薄井 勲: 糖尿病合併高血圧患者に対するテルミサルタンの効果に関する研究報告. 生活習慣病と臓器障害を考える 2006, 2, 富山.
- 9) 岩田 実, 山崎勝也, 薄井 勲, 宇野立人, 平谷和幸, 石木 学, 小橋親晃, 浦風雅春, 小林 正, 藤川真理子, 市崎雅子: 内臓脂肪蓄積発症に関与する生活習慣の検討. 第 8 回富山生活習慣病を考える会, 2006, 8, 富山.
- 10) 藤坂志帆, 薄井 勲, アグッサルム ブクハリ, 金谷由紀子, 石塚 健, 賀 剣英, 岩田 実, 石木 学, 平谷和幸, 浦風雅春, 小林 正: テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいてインスリン抵抗性を改善させ, 脂肪細胞を小型化する. 第 1 回富山メタボリックフォーラム, 2006, 富山.
- 11) 平谷和幸, 薄井 勲, 刀塚俊起, 石木 学, 岩田 実, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: 典型的な溶血所見を示さず, 血糖値と HbA1c の乖離を示した糖尿病を合併した有口赤血球症の一例. 第 1 回富山メタボリックフォーラム, 2006, 10, 富山.
- 12) 小林直子, 岩田 実, 山田 徹, 松井祥子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 平谷和幸, 山崎勝也, 小林 正, 浦風雅春, 林 央周, 遠藤俊郎, 笹岡利安, 福岡順也, 加藤弘巳, 沖 隆: 高分子 ACTH の産生を認めた下垂体 microadenoma による Cushing 病の一例. 第 32 回富山内分泌代謝セミナー, 2006, 11, 富山.
- 13) 小林直子: 心に残る症例「発熱, 異型リンパ球増加が認められた 2 症例」北陸総合診療懇話会, 2006, 10, 内灘.
- 14) 藤坂志帆, 薄井 勲, 小林 正: テルミサルタンは高脂肪食負荷マウスにおいて脂肪細胞を小型化し, インスリン抵抗性を改善させる. Medical Tribune 9 月 28 日号, 66, 2006.